

憲法改悪を許さない全国署名

各地でこんな取り組みが [71]

2024年10月24日

9条改憲NO! 全国市民アクション 連絡先 メール info@kaikenno.com ☎03-3221-4668
<住所>〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-3-3 太陽ビル 402 市民ネット内

自民党—非公認候補者側党支部に政党助成金が原資の2000万円を振り込む

**“語るに落ちた、自民党 森山幹事長も認める
“裏金議員の裏公認、—有権者はこんな「だまし」を絶対に許しません!**

裏金問題をただす気もなく、力もない自民党政治は、終わらせなければ解決しません!

自民党政治を終わらせなければならないもう一つの理由

—有権者が望んでもいない「憲法改正」に躍起!

自民党などの衆院選での「憲法改正」公約

自民党 (選挙公約は次のとおりです。)

国民とともに憲法改正を実現します

日本の憲法は、日本国民のものであります。国民自らが憲法について議論し、必要な改正を行うことで、時代に即した新しい憲法、新たな“国のかたち”を、国民自身の手で創り出すことにつながります。

自民党は、活発な議論を通じて改憲の機運を盛り上げ、国民の皆様とともに憲法の改正を実現したいと考えています。

●「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」の3つの基本原理は堅持し、憲法改正実現に向けて、取り組みを更に強化します。

●技術革新、安全保障環境、時代や社会生活の変化など、時代の要請に応えられる「日本国憲法」に改正するために、力を尽くします。

●自民党は現在、憲法改正の条文イメージとして、①自衛隊の明記、②緊急事態対応、③合区解消・地方公共団体、④教育充実の4項目を提示しています。

●国民の皆様幅広いご理解を得るため、全国各地で対話集会などを積極的に開催し、憲法改正の必要性を丁寧に説明していきます。

●衆参両院の憲法審査会において憲法論議を深め、憲法改正原案の国会提案・発議を行い、国民投票を実施し、「日本国憲法」の改正を早期に実現します。

(また、9月にまとめた「論点整理」では、9条への自衛隊明記とともに緊急時に政府の権限を一時的に強める「緊急政令」の導入や緊急時に国会議員任期の特例延長を認める改憲を方針にしています。)

公明党 (選挙公約から)

憲法9条と自衛隊について、「自衛隊はわが国最大の實力組織です。内閣や国会によ

る自衛隊の民主的統制を確保することは国民主権の原理からも重要で、これを自衛隊法等の法律だけでなく、憲法が定める統治機構の中に位置付けることについて、検討を進めてまいります。」「平和安全法制は、9条の下での自衛の措置の限界（新3要件）を明確にしました。この法整備により、わが国防衛のための日米防衛協力が大きく進展し、抑止力が強化されました。（略）防衛力の整備を進め、日米同盟による抑止力のさらなる強化を図ってまいります。」

緊急事態における国会機能の維持について、「議会制民主主義の基本に関わることであり、また緊急集会が参議院の基本的かつ重要な権能であることを踏まえながら、任期延長ができる要件、手続をどう厳格かつ明確に定められるのかを含め、さらに論議を積み重ねてまいります。」

オンラインによる国会審議、採決に参加できる制度について、「国会議員が議場に参集することが困難なときその他特別の事情があるときは、オンライン出席ができること」を確認的に明記すべきと考えます。」

国家の緊急時の内閣による緊急政令の発出について、「国家の緊急時といってもさまざまな事態があり、それぞれの危機管理法制の中で私権に対する一定の制約とその手続、必要な補償規定等を具体的に整備してゆくしかないと思われまます。また不測の事態にも対応できるよう、政令委任ができる範囲をあらかじめ法律の中に規定すべきと考えまます。」

デジタル社会の進展と憲法について、「デジタル社会における個人情報の保護について憲法上の位置づけを検討するとともに、『デジタル基本法（仮称）』を策定することを目指します。」

日本維新の会（選挙公約は次のとおりです。）

■政策

- 【教育無償化】すべての国民は経済的理由によって教育を受ける機会を奪われないことを憲法（第26条）に明文化します。
- 【統治機構改革】憲法第8章「地方自治」を「地域主権」に改正し、限界が明らかとなって中央集権体制から地方分権体制（道州制）に移行します。国の役割を明確に絞り込み、国の機能強化と地方の自立を実現します。
- 【憲法裁判所】政治・行政による恣意的憲法解釈を許さないよう、法令又は処分その他の行為が憲法に適合するかしないかを決定する権限を有する第一審にして終審の裁判所である憲法裁判所を設置し、憲法に条文を新設します。憲法裁判所の判決で違憲とされた法令、処分などは、その効力を失うこととし、判決は全ての公権力を拘束する効力を持たせます。
- 【9条改正】憲法第9条については、平和主義・戦争放棄を堅持した上で、自衛隊を明確に規定します。
- 【緊急事態条項】国による武力攻撃、内乱・テロ、大規模自然災害、および感染症の蔓延などの緊急事態に対応するための緊急事態条項を憲法に創設します。その際、濫用を抑止する観点から、緊急事態条項の発動には憲法裁判所の承認が必要であることを明記します。
- 憲法の実態や解釈が、国民の選択に委ねられることなく時の政権によって変更されてきたことに鑑み、国民自らが憲法を選択する国民投票を早期に実施します。現実的な国民投票の実施に向けて、与野党の合意しやすい項目に絞り込むための憲法審査会の議論をリードします。

このほか国民民主党は、緊急時における行政府の権限を統制するための緊急事態条項を創設し、任期満了時に、外国からの武力攻撃、内乱・テロ、大規模災害、感染症の大規模まん延の緊急事態が発生し、選挙ができなくなった場合に、議員任期の特例延長を認める規定を創設、また憲法9条については、自衛権の行使の範囲、自衛隊の保持・統制に関するルール、戦力不保持・交戦権の否認を規定した憲法9条2項との関係の3つの論点から具体的な議論を進める、などとしています。

★各地の行動から（9月上旬から10月上旬）

北海道

- **国民多数 9 条支持** 札幌市
北海道憲法共同センターは9月9日、「STOP 改憲 平和憲法を未来へ」と訴える「9 の日アクション」を繰り広げ、憲法改悪反対の全国署名を呼びかけました。
- **ガザ侵攻即時停止迫る** 札幌駅前
北海道アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、北海道の大学・高専関係者有志アピールの会、北海道合唱団は9月11日、ガザ侵攻の即時停止や原発回帰ノーなどを訴える共同宣伝を繰り広げました。
- **安保法制廃止求め行動** 札幌市（大通公園・麻生駅前・白石区）
戦争法強行採決から9年の9月19日、札幌市内各地で安保法制廃止を求めた行動が行われました。
- **ガザ即時停戦を 犠牲者悼む集会** 札幌駅前
北海道パレスチナ医療奉仕団は9月21日、イスラエルの攻撃による犠牲者を悼み、即時停戦を求める集会を行いました。
- **大軍拡と戦争法を学ぶ** 札幌市
藤野 9 条の会は9月21日、姉崎洋一北海道大学名誉教授を講師に、「安保法制と 9 条、大軍拡と戦争法で忍び寄る新たな『戦時』体制」と題した講演会を開きました。

青森

国民世論と改憲 相いれぬ

青森市

青森県九条の会は9月10日、「憲法改悪を許さない全国署名」を広げる街頭宣伝に取り組み、商店街を歩く市民にピラを手渡して賛同を呼びかけました。

岩手

- **女性 5 団体ピースアクション** 盛岡市
「ピースアクションいわて」は9月18日、盛岡地裁前で大軍拡と増税に反対する宣伝を行い、自民党政治の転換を訴えました。
- **安保法制廃止と改憲阻止へ** 盛岡市
「9 条改憲 NO！全国市民アクション岩手の会」は9月19日、安保法制廃止を求め、大軍拡と憲法改定に反対するデモ行進を行い、100人が参加しました。

宮城

- **改憲阻止運動さらに** 仙台市
「宮城憲法会議」は9月3日、改憲案を批判し、阻止するために全力でたたくと宣言する声明を発表し、今後参加団体にも呼びかけ宣伝や集会など改憲阻止の運動を盛り上げていくとしています。
- **自衛隊に個人情報提供やめよ** 仙台駅前
「個人情報と自衛隊を考える市民連絡会」は9月5日、仙台市が自衛隊の求めに応じ、18歳になる市民の名前と住所を宛名シールにして提供している問題で、本人の同意のない一括提供の中止を求める宣伝をしました。
- **“9 条には力がある”** 仙台市
宮城県内九条の会連絡会総会が9月8日開かれ、「九条の会」事務局の渡辺治一橋大学名誉教授が講演し、「学習を力に、改憲阻止のため、それぞれの市民が創意工夫した運動を展開しよう」との呼びかけに大きな拍手がわきました。
- **「統一協会」は破壊的カルト** 仙台市
全国統一協会対策弁護団東北弁護団と日本キリスト教団東北教区は、ジャーナリストの鈴木エイト氏の講演会を開きました。同氏は、国会議員だけでなく地方政界まで汚染が広がっている実態を告発しました。
- **“ヤジは表現の自由”** 仙台市

安倍晋三氏の街頭演説でのヤジを理由にした、警察による排除の不当性を訴えた「ヤジポイ裁判」の原告が語る講演会が9月14日開かれ、「ヤジポイの会東北」の佐々木欣也代表は「表現の自由を守るための裁判の意義を確認したい」とあいさつしました。

秋 田

・市民不在自民政治変えよう 秋田駅前

秋田県憲法センターは9月19日、「戦争法廃止、9条改憲NO！ 声を上げよう県民集会・デモ」を行いました。

・高校生の個人情報自衛隊への提供 学習会 能代市

能代まちなか九条の会、能代市革新懇・平和委員会は、同市が自衛隊に18歳の高校生393人の個人情報を提出した問題について学習会を開きました。参加者らは住民に真実を知らせ、反対の声を高める重要性を確認しました。

山 形

”9条だけは変えてはいけない“ 山形市

「9条改憲NO！やまがた県民の会」は9月19日、「戦争法強行採決から9年 真の政治を取り戻そう！9・19集会」を開きました。

群 馬

弾圧に負けぬ幅広い共同を

伊勢崎市

小林多喜二の遺志を引き継ごうと第17回伊勢崎多喜二祭が9月1日行われ、200人以上が参加。今年は、関東大震災の弾圧と多喜二奪還事件、群馬の森にあった朝鮮人犠牲者追悼碑の撤去問題を取り上げました。

茨 城

パレスチナと連帯

水戸市

パレスチナを想う市民の会は9月28日、パレスチナチャリティーバザーを開催しました。「パレスチナがどんな場所で、そこで生きている人たちの背景を知って欲しいと、写真パネル展示や動画、アクセサリー、パレスチナ刺繍、書籍、衣類、クッキーなどの販売を行いました。

埼 玉

・保険証廃止 STOP

7か所で

医療生協さいたま生活協同組合は9月30日、県内7か所で「今の保険証を残して」と訴える一斉宣伝行動に取り組みました。1時間ほどで89人分の署名が集まりました。

・ヘイトスピーチ禁止条例制定へ

さいたま市

「ヘイトスピーチ禁止条例を求める埼玉の会」は10月4日、大野元裕県知事宛に、同条例制定に向けて検討委員会の設置などを求める請願書を提出しました。

千 葉

「平和な海の維持発展こそ」

柏市

9月6～8日、第26回平和のための戦争展「とうかつ」が開催され、戦時中の軍服や手りゅう弾、現在世界各地で絵起きている紛争のレポートなどが展示されました。

東 京

都政転換へたたかう

千代田区

東京都知事選で市民と野党の共闘を進めてきた「共闘ネットワーク」が9月26日、都知事選を振り返り都政転換の新たなたたかいを目指す集会を開きました。

神奈川

・戦争司令部は退去せよ

座間市

「基地強化に反対し、早期返還をめざすキャンプ座間周辺市民連絡会」と座間平和委員会は9月3日、米陸軍第765輸送大隊が7月31日にキャンプ座間に再編成された問題で、在日米軍司令官宛ての抗議・申し入れ文書をそれぞれ提出しました。

・米軍機墜落事故60年 犠牲者追悼

大和市

5人が犠牲となった館野鉄工所米軍機墜落事故から60年の「慰霊祭」が9月5日、事

故現場で行われ、市民らが事故現場に建立された「慰霊碑」に手を合わせました。実行委員会共同代表の大波修二氏はあいさつで、日米同盟強化で市民にとっては危険が増している、この動きをとめるたたかいに決意を新たに取り組もうと述べました。

長野

・マイナー本化「反対」7割 長野市

県保険医協会は9月3日、県庁で会見を開き、現行の健康保険証をマイナンバーカードに一本化する国の方針をめぐって、入所系高齢者や障がい者施設を対象に実施したアンケート結果を発表。71.2%にあたる施設が、現行の保険証廃止に「反対」と答えたとしました。

・「憲法を守れ」と500回 原村

「憲法9条を守る原村民の会」は9月20日、憲法9条を守る宣伝行動の通算500回目のメモリアルアピールをしました。2013年以来毎週行動しています。

・過去と現在から学ぶ 伊那市

9月28日から2日間、「平和のための信州・戦争展 in 上伊那」が開かれました。講演会を一日に2回開き、パネルを数百枚展示して過去と現在の戦争について学びました。

新潟

再稼働許さず廃炉に

柏崎市

「なくそう原発2024 柏崎大集会」とパレードが9月29日行われ、900人が参加し、「原発再稼働ストップ！廃炉を実現しよう」と訴えました。

富山

平和の鐘つき

高岡市

富山・高岡地区で活動している「9条の会」は9月9日、「憲法9条を変えるな・平和を守れ！」の願いを込めて「平和の鐘つき」をしました。今年で18回目になります。

石川

・憲法根付かせよう 金沢市

石川憲法会議と「戦争する国づくりストップ！憲法を守りいかす石川県共同センター」は9月3日、街頭宣伝委取り組み、「安保3文書撤回 大軍拡・大増税反対」などの横断幕を掲げアピールしました。

・戦争参加の危険な内閣 金沢市

「9条改憲NO！なんぷアクション」は10月2日、大軍拡、大増税に抗議するスタンディング宣伝を行いました。

静岡

現行の保険証は存続を

静岡駅前

東海4県の保険医協会の医師・歯科医師らは9月15日、現行の保険証存続を求め宣伝を行い、署名への協力を呼びかけました。30分間の宣伝で、署名85人分が集まりました。

愛知

・不安浮き彫りに 名古屋市

愛知県保険医協会は9月12日、子育て世帯を対象にしたマイナ保険証利用実態調査の結果報告を発表し、会見を開きました。97%が現行の「保険証を使っている」と回答し、煩雑な操作や個人情報の流出などの不安が浮き彫りになりました。

・勇気ある憲法判断を 名古屋市

安保法制違憲訴訟控訴審の第2回口頭弁論が9月25日、名古屋高裁でありました。同様の訴訟は全国22地裁で起こされ、7699人の原告がたたかっています。

・ウクライナの平和を願い 世界中で声上げよう 名古屋市

日本ウクライナ文化協会らの呼びかけで9月29日、一日も早い戦争終結と平和を願うデモが行われました。

・愛知県とイスラエルの事業連携「中止を」 名古屋市

イスラエルと事業提携を継続する愛知県に抗議し、毎週スタンディングをしている市民有志が10月4日、県や大村県知事に対し事業提携の中止を求める署名2万359人分を提出しました。

岐阜

・「今の保険証残して」声上げよう 大垣市

憲法9条を守る西濃共同センターは9月21日、「健康保険証を残せ！オンライン学習会」を開き、60人が参加しました。

・憲法前文や9条 運動に生かそう 岐阜市

総がかり講演会「戦争する国にしない覚悟」が9月21日開かれ、名古屋学院大学の飯島滋明教授が講演。「憲法の平和主義に基づいて、政府に国際社会での平和外交を求めよう」と語りました。

・憲法97条を生きる指針に 岐阜市

岐阜県原爆被爆者の会は9月27日、「原爆死没者慰霊祭」を開催しました。同会会長の木戸孝市氏は、「今こそ憲法97条を日本国民の生きる指針にしなければなりません」と条文を読み上げました。

三重

・性暴力を許さない 三重県8市

三重県内では8市でフラワーデモが9月11日等に行われ、「継続することが大事」と毎月の取り組みの大切さが参加者から話されました。

・世界平和実現へ 憲法9条は指針 津市

安保法制廃止！改憲許さない三重県集会在が9月19日行われ25人が参加しました。

・保険証残すべき 津市

三重県保険医療会は10月6日、「健康保険証廃止～もう一度立ち止まって考えてみよう」を開催し経済ジャーナリストの荻原博子氏が講演。オンラインを含め約180人が参加しました。

京都

署名6067人分を提出

京都

京都・祝園ミサイル弾薬庫問題を考える住民ネットワークは9月18日、陸上自衛隊祝園分屯地の弾薬庫8棟の増強計画について住民説明会を求める署名を防衛省近畿中部防衛局に提出しました。

大阪

・9条の碑建立へ 茨木市

各地で建立されている憲法9条の碑を建てようと、茨木市、八尾市で運動が始まっています。茨木市では11月に建立される予定で、大阪府内では初めてです。「茨木に9条の碑を建てよう会」事務局次長松本倫太郎さんが勤務する淀川勤労者厚生協会附属茨木診療所の玄関先に建立します。

憲法いかし守る運動さらに 大阪市

「九条の会・おおさか」は9月16日、講演と交流の集いを開き約200人が参加。「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」共同代表の菱山南帆子さんが、「憲法9条のバトンを手渡す為に」と題して講演しました。

・毎月のスタンディング 泉南市

泉南市九条の会は9月19日スタンディングを行い、「9条改憲NO!」「大軍拡・大増税NO!」「平和でこそ商売繁盛」など、プラカードや横断幕を掲げ訴えました。

・集会とデモ 大阪市

戦争あかん！西淀川実行委員会は9月19日、パレスチナとウクライナの平和を求め、戦争する国づくりに反対する集会とデモ行進を行いました。

奈良

雨だれ石うがつ 継続を

橿原市

橿原市九条の会は9月29日、結成19周年記念講演会を開き、翻訳家の池田香代子さんが「虎に翼、私達に憲法」と題して講演しました。

和歌山 **取り戻そう立憲主義** **和歌山駅前**
「戦争させない・9条壊すな！総がかり実行委員会」がよびかけた「とりもどそう立憲主義と平和憲法」アピール行動が9月19日行われました。

兵庫 **税金戦争に使うな** **神戸市**
兵庫県憲法共同センターは10月8日、憲法を生かす昼休みパレードを行い、「裏金議員は落選を」「カジノ万博やめろ」などを繁華街で訴えました。

岡山 **9月9日午前9時9分** **県内各地**
「平和の鐘つき」が9月9日岡山県各地で行われました。戦争の放棄をうたう憲法9条にちなみ、毎年9月9日午前9時9分にいっせいに鐘をつきます。高梁市では「高梁9条の会」の会員と市内の14寺院が協力。第2次世界大戦に供出された後に戻された鐘を置いている寺院もあり、参加者は戦争犠牲者に黙とうし、核兵器も戦争のない世界を願いました。

広島 **暴走政治を止めよう** **広島市**
「戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会」は9月19日、約50人が参加し、「戦争したがる政府はいらない」「9条守れ！」などのメッセージを掲げアピールしました。

愛媛 **戦争放棄に誇り** **松山市**
愛媛9条の会は10月5日9条パレードに取り組み50人が参加。観光客らでにぎわう商店街を「憲法9条を守ろう」などとコールしながらパレードしました。

福岡
・ **共闘推進へ奮闘を** **福岡市**
「市民連合ふくおか」は9月8日、「2024 街角トークライブ」を開き、市民と野党の共闘を願う政党、市民団体、労働組合などから130人超が参加しました。
・ **保険証をのこして** **県内10カ所**
『『保険証をのこして』ネットワークふくおか』は9月26日、県内10カ所、約100人の参加で、紙の保険証の存続を求める宣伝行動に取り組みました。

佐賀 **花を手に応援** **佐賀駅前**
「フラワーデモ@佐賀」は9月11日、全国の運動に連帯しスタンディングを行い、性暴力を許さないと訴えました。

大分 **対話と外交で解決策** **大分市**
第31回「平和のための戦争展 in 大分」が9月15日開かれ、「台湾有事」と南西諸島の軍事要塞化をテーマとし上里賢一琉球大学名誉教授が講演しました。

沖縄 **戦争体験の継承へ 沖縄でシンポ** **南風原町**
戦争体験の継承は体験者の語りー「人」から戦争遺跡や遺物、資料などの「物」へとシフトしてきました。7、8月に開かれたシンポジウムでは戦跡活用の現状や今後について話し合われました。講演した北上田源琉球大学准教授は、「戦跡を活用した学習は十分でない」と述べ、教員が「戦跡を教える」のではなく、学習者と主体的に探究する「戦跡で教える」学習を提起しました。